

高島平みんなの農園の活動を試行的に開始しました

令和5年9月に区・UR都市機構・東京都健康長寿医療センターの3者で締結したウェルフェアの発展に向けた連携協定に基づく新たな取り組みとして、世代・障がい・文化の違いを超えて、誰もが元気に楽しく暮らせる地域づくりに向けた農的活動「高島平みんなの農園」がUR高島平団地内の屋外空間を活用して試行開始されました。

将来は参加を希望される地域の皆さまが主体になれる活動を目標としています。



3つの大きなプランターを作り、じゃがいもを育てています！

高島平地域交流核形成まちづくりプランを策定しました！

説明会・まちづくり連絡会・パブリックコメントなどで皆さまから多くのご意見・ご提案をいただきありがとうございます。皆さまのご意見を踏まえて、高島平地域交流核形成まちづくりプランを策定致しました。

新しい都市のイメージとして、高島平駅前の公共空間等における将来の絵姿を以下に示しました。引き続き、居住の安定や生活の継続性に配慮しながら、まちづくりの検討を進めていきます。

新しい都市のイメージ



プロムナード（高島平緑地）のイメージ

駅周辺エリアのイメージ

本ページはイメージであり、具体的な整備内容を決定・図化したものではありません。今後、まちづくりの進展に応じて、段階的に整備内容を具体化していきます。

計画コンセプト（監修）：株式会社ネイ&パートナーズジャパン

区・UR都市機構で基本協定を締結しました

板橋区は、高島平駅周辺の将来像を定める「高島平地域交流核形成まちづくりプラン」を3月26日に策定し、このプランの実現への第一歩となる、UR都市機構（東日本都市再生本部及び東日本賃貸住宅本部）と「基本協定及び実施協定」を3月28日に締結しました。

今後の予定として、令和6年度からはこれまでの検討を基に、交流核エリアにおける地域の顔となる駅前拠点の形成に向けた検討に着手し、令和7年度の工事着手（旧高島第七小学校の解体工事）をめざしていきます。



協定式の様子

今後のまちづくりのスケジュール

※表のG.D.は高島平地域グランドデザインを指す

	G.D. 第1期			G.D. 第2期 R8年度～R17年度 (2026～2035)	G.D. 第3期 R18年度～ (2036～)
	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)		
交流核の事業展開					
駅前拠点エリア	施設・基盤・民間誘導の一体的な詳細検討			連鎖的都市再生の進展に合わせて、エリア全体の一体的な検討深度化と各ステップの事業展開への反映	
準備ステップ ・高架下エリア ・再整備地区	高架下の活用に向けた調整		改修工事	施設運営・高架下空間活用	
	暫定広場の整備に向けた調整		整備工事	広場活用	
	旧高七小等の既存施設解体の調整		解体工事		
第1ステップ ・再整備地区 (プロムナード(西側)を含む)	プロムナード再整備等に向けた検討・調整		整備工事		
	旧高七小の施設計画の検討		建設工事		
第2ステップ ・駅周辺エリア (プロムナード(東側)を含む)	プロムナード再整備等に向けた検討・調整		整備工事		
	再整備地区の進捗状況に合わせて検討		段階的に整備		

パブリックコメントの実施概要と主な意見

皆さまから、多くのご意見・ご提案をいただきました！

実施概要

実施時期	令和6年1月26日(金)～2月16日(金)【22日間】
意見数	39名・124件(直接0名、郵送0名、FAX3名、メール7名、WEB29名)
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・広報いたばし1月20日号 ・板橋区ホームページ ・SNS(X(旧Twitter)、Facebook、Yahoo、地域SNSピアッツァ) ・高島平地域内の町会・自治会回覧板(かわら版1,600部) ・UR賃貸住宅内周知(団地再生だより) ・区役所・地域センター(18か所)・図書館(11カ所)にて閲覧 ・高島平まちづくりギャラリーでの展示(高島平図書館1階コミュニティスペース) ・高島平地域内の三田線各駅(西台駅～西高島平駅)、区役所本庁舎内でのポスター掲示

主な意見

- ・高島平の将来の具体的なイメージを示してほしい。
- ・高島平駅前を開けた景観とし、パブリックな空間の建物ボリュームを抑えてほしい。
- ・高島平は充実した公共施設と利便性の高さが魅力で、50年後を見据えた議論が大事。
- ・特定の大きな組織との連携の過程を透明化するとともに、地域のNPO法人等の意見を大事にしてほしい。
- ・既存のみどり(樹木)を大切に、安易な伐採は謹んでほしい。
- ・新設する区道について、歩行者などの安全性に配慮してほしい。
- ・歩車分離に加え、歩行者と自転車の共存について配慮してほしい。

このほか、多くの皆さまから、高島平まちづくりに関して、ご意見やご提案をいただきました。ご意見への回答については、以下の区ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

[トップページ](#) > [防災・環境・まちづくり](#) > [まちづくり](#) > [各地域のまちづくり](#)
 > [高島平地域](#) > [高島平地域交流核形成まちづくりプラン\(案\)に対する意見と区の考え方](#)



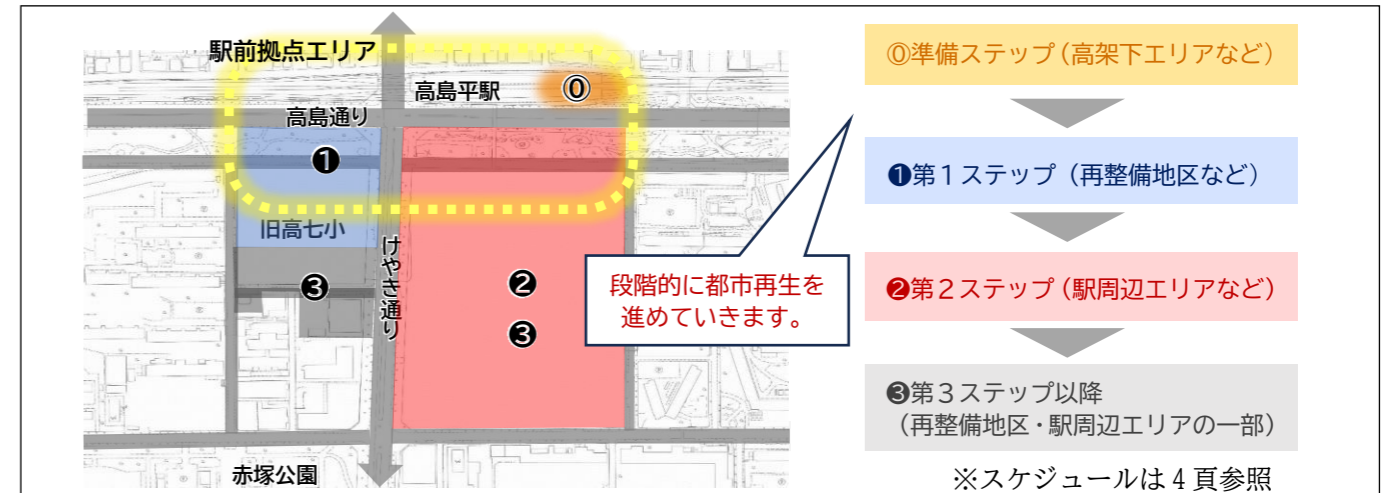
交流核プラン(案)から追加・修正した主な内容

交流核プラン(案)に対して行った意見募集(パブリックコメント・説明会等)を受け、主に以下の内容を追加・修正を行いました。

- ・デッキネットワーク構築における地域全体への効果波及や将来負担軽減の考え方を追加【3章】
- ・子育て世帯や高齢者など、多様な人が移動しやすい手段となるモビリティの導入を追加【3章】
- ・デザインの調和に向けて、視線の抜けや遠景への配慮等の景観形成の考え方を追加【3章】
- ・先端技術の活用として、イベントや実証実験を通じた人流データの活用事例を追加【3章】
- ・協働まちづくりの体制構築として、UDCTakと民間事業者の連携の考え方を追加【3章】
- ・将来イメージを示す図を追加【巻末】

再整備地区での整備イメージ

<連鎖的都市再生のステップ図>



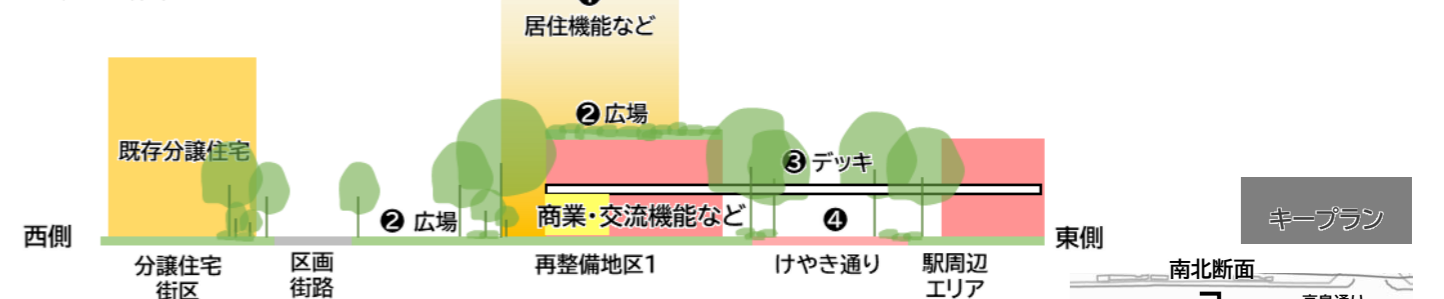
東西断面の誘導イメージ

- ①連鎖的都市再生の起点となる、ミクストコミュニティと居住の安定に資する住宅の誘導
- ②交流の場となる校庭の機能の継続と防災にも活用できる複層的な広場等(合計2,000㎡程度)の整備
- ③交流核をつなぐデッキネットワークの構築
- ④人が中心となるウォークラブルな道路空間へと再整備なる施設の整備

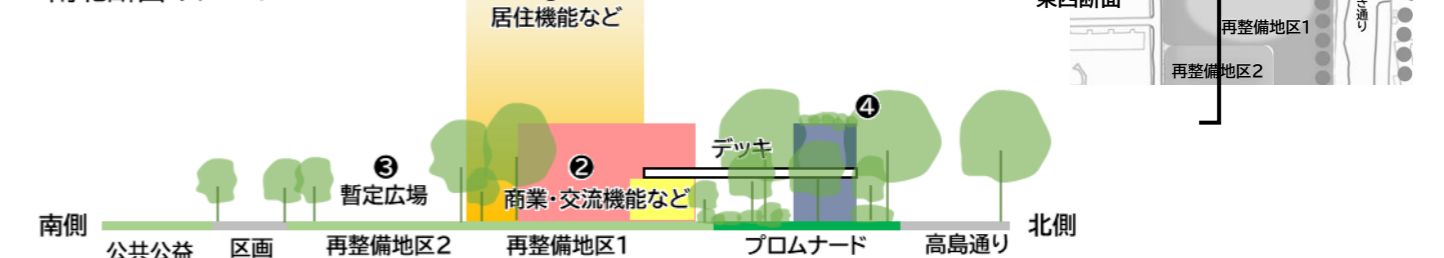
南北断面の誘導イメージ

- ①景観や周囲の住環境に配慮しつつ、土地の合理的かつ健全な高度利用による超高層建物(110m程度)の設置
- ②にぎわいの形成と生活の継続性に資するスーパーマーケット等の商業機能の誘導
- ③校庭が担っていた、地域の活動や交流の場となり、都市づくりの試行的な活動の受け皿となる広場(4,000㎡程度)の整備
- ④豊かなみどりと調和した子育て支援、子どもの学びとなる施設の整備

<東西断面イメージ>



<南北断面イメージ>



再整備地区では、連鎖的都市再生の起点となる旧高七小の限られた土地を有効に活用し、高島平のまちづくりに寄与する多くの地域貢献を実現するため、土地の合理的かつ健全な高度利用を行います。